

代表質問

### 田中さやか議員 (ネット)



**子どもの権利の確保と、その根拠となる品川区子どもの権利条例」の制定について**

- 問** 本区で過去に子どもの自死が複数あったことは忘れてはならず、子ども・若者の自死を防ぐ取組は急務。児相の開設を待たず、早急な権利擁護機関の設置を求める。
- 答** 他自治体事例を引き続き研究する。子どもの権利を保障する実効性のある条例を制定するために、子ども・若者に寄り添い、子どもの育ちを支援してきた市民や専門家、学識経験者等が出席する開かれた検討委員会を立ち上げることが必要だと考える。区の見解を問う。
- 問** 東京都子ども基本条例の周知啓発等進める。

**共に学び共に生きるインクルーシブ教育の推進について**

- 問** インクルーシブ教育を推進するためには、発達障がい児の支援に限らず、通常学級に通いたい知的障がい児や肢体不自由児等も分け隔てなく支援する支援員の配置が必要。見解を問う。
- 答** 学習支援員・介助員については、発達障害に限らず、知的障害や肢体不自由の児童・生徒にもできる限り対応するよう努めている。

**公給食等の「食の質」の確保について**

- 問** 学校給食の無償化により区教委が掲げてきた食の質の確保に向けた取組が後退しないよう求める。
- 答** 今後変わりはない。
- 問** 契約農家と共に子どもの体に優しい有機野菜を使用したオーガニック給食実現を目指すことを求める。
- 答** 無農薬の野菜などを調達し、体に優しい給食に取り組んできている。特別支援学校は都立のために無償化の対象外であれば、補助制度を別途用意すべき。
- 問** 今後の研究課題とする。
- 答** 今度の研究課題とする。
- 問** すまいるスクールで朝食を提供するならば、子どもたちの体に負担をかけない食の質の確保は不可欠。

**食の質確保に向けた検討を問う。**  
食の安全・安心に配慮するなど、様々な角度から検証する。

**介護をされる人も介護をする人も、自分の人生を歩める支援策について**

- 問** 全てのケアラー（介護者）が個人として尊重され、健康で文化的な生活を営むことができるように、ケアラーを支援することは介護される人のためにも必要な条例と考える。条例の必要性について問う。
- 答** マニュアル等を作っていく中で示していきたいと考えている。

**環境基本計画中間見直し成果と課題について**

- 問** CO2削減目標を達成する具体的な実行策を問う。
- 答** 区の環境に合う太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入を推進する。
- 問** 有害化学物質の暴露は化学物質過敏症の方たちにとっては非常に深刻な問題だが、本来は全ての人にとって避けるべき事態。区の施設での有害化学物質削減の方向性や具体策、削減目標の数値なども書き込むべきと考える。見解を問う。
- 答** 個別に数値目標を定めることは困難。化学物質の適正管理について、

区の取組として記載している。  
**羽田新飛行ルートや、リニア中央新幹線、新庁舎建設を含めた品川区のまちづくりについて**

- 問** 第一庁舎は、建物を残して別途活用とされていたものが、区民の負担軽減を謳った区庁舎跡地周辺一帯のなまちづくりにも組み込まれた。決定までの協議状況を問う。
- 答** 会議体の名称は無く、関係部課長との会議、区長、副区長を入れた会議等を10回前後やったと思う。
- 問** 財源計画も、まちづくりによる区民負担軽減の方策が盛り込まれ、答申から大きな変更となった。その理由と、区が示す区民の負担軽減の意味を問う。
- 答** 跡地の有効活用で収入を確保。区民の実質的な負担を軽減していく。リニア事業者によるオープンハウス型説明会で、2021年の事業者説明会とは異なる説明があった。区として事業者、市民への説明不足等を指摘し改善を求めるべき。丁寧な取り組みを事業者に求める。乳幼児等も含めた全ての区民への羽田新ルートによる影響を聞き取る手法について問う。
- 答** 保育者や介護者への聞き取り調査は、今回、実施する予定は無い。

一般質問

### つる伸一郎議員 (公明)



**品川区の青年政策について**

- 問** 青年世代が求める施策の推進、青年世代と高齢・子育て世帯との交流支援など青年政策の方向性は。
- 答** 若者と地域の大人が触れ合う拠点や仕組みの必要性が、地域や大学生から挙がっており、具体的検討も予定している。
- 問** 子育て支援・教育について
- 問** 学校給食の無償化について、区民が共感できる財源を示し、質や栄養面の維持向上を。
- 答** 恒久的な財源の確保について企画部門と調整し、今後の事業の推進を図っていく。献立の内容など、さらに研究し、向上に努めていく。
- 問** すまいるスクールでの長期休業中等における仕出し弁当の導入について。
- 答** 2018年の第3回定例会で求め

て以降5年目にして試行される。全校展開はいつからか。

**健康について**

- 問** グリーフケアの支援策を求めた。出産・子育て応援給付金の案内文に、流産や死産をされた方も対象となることを明記してもらった。ケアの体制強化の状況は。
- 答** 5年前よりご提案をいただいている。要望が多く、期待されていることを認識している。試行に向けて検討している。具体的な時期については、今後検討を進める。
- 問** SDGsについて
- 問** 「SDGs 未来都市」のキックオフイベントやアレルブランドのオピニオンリーダーを招いての、サステナブルファッションショーなどのイベントを開催し、SDGsの取り組みの啓発を。
- 答** 講演会やワークショップなどを開催し、意識醸成を図る。ファッションショーについても、循環経済の実践的な取組の一つとして、アレルブランドのオピニオンリーダーの招聘など検討する。

一般質問

### 江野下 正人議員 (自民)



**教育活動について**

- 問** 部活動の地域移行の取組と見解は。
- 答** 次年度は部活動指導員を各校2名体制に拡充し地域の人材を活用して地域との連携を段階的に進める。大規模災害を想定し中学生が地域の力になれる訓練を希望する。
- 問** 避難訓練による自分の身の守り方が最も重要。自らの安全が確保された上で災害時には地域の中学生による活躍が期待されると考える。
- 答** 品川区の「まちづくり」として加入促進の取組と見解は。
- 問** 商店街の支援について
- 答** 組合に加入しない店舗が増えてきている。品川区の「まちづくり」として加入促進の取組と見解は。活動継続には組合への加入促進が重要な課題と理解。区商連との連携、エリアサポーターの活用等、加入促進に繋がる活動を支援する。中小企業は事業を続けて行くにも

区の新幹線、新庁舎建設を含めた品川区のまちづくりについて

- 問** 第一庁舎は、建物を残して別途活用とされていたものが、区民の負担軽減を謳った区庁舎跡地周辺一帯のなまちづくりにも組み込まれた。決定までの協議状況を問う。
- 答** 会議体の名称は無く、関係部課長との会議、区長、副区長を入れた会議等を10回前後やったと思う。
- 問** 財源計画も、まちづくりによる区民負担軽減の方策が盛り込まれ、答申から大きな変更となった。その理由と、区が示す区民の負担軽減の意味を問う。
- 答** 跡地の有効活用で収入を確保。区民の実質的な負担を軽減していく。リニア事業者によるオープンハウス型説明会で、2021年の事業者説明会とは異なる説明があった。区として事業者、市民への説明不足等を指摘し改善を求めるべき。丁寧な取り組みを事業者に求める。乳幼児等も含めた全ての区民への羽田新ルートによる影響を聞き取る手法について問う。
- 答** 保育者や介護者への聞き取り調査は、今回、実施する予定は無い。

- 問** 悩んだまま閉店するケースが多い。事業承継について新たな取組を。
- 答** 令和5年度には専門のポータルサイトを運営予定。今後も金融機関と連携するなど支援を充実する。
- 問** 鳩・カラスの餌やりによる被害、地域の環境について、見解は。
- 答** 良好な環境維持は大変重要。注意喚起、啓発チラシ、餌やり防止掲示板、パトロール等、継続的に実施。今後も地域環境の向上に効果的な検討と合わせ粘り強く取組む。
- 問** 町会、商店街、地元企業と連携を図った賑わいの創出を期待する。
- 答** 「あつまれ！えばら」では実行委員会を設け在原地区町会連合会も参加。来年度は「スクエア在原10周年」記念イベントも含め様々な団体との一層の連携に取組む。
- 問** しながわシティマラソンについて
- 答** 「新時代のしながわ」に相応しい品川区の魅力にあふれた特色のある誰もが参加できる大会の開催を。熱い思いをご提案頂いた。内容を含め検討する。令和7年3月の開催を目指し準備を進める。
- 問** ぜひ森澤区長も区民の皆様と一緒に走っていただけないか。
- 答** トレーニングが必要。今後、自分の体調を含めて検討する。